

# 第11回 海岸勉強会メモ

日時:平成20年11月6日(木)

19:00~21:00

会場:住吉公民館

[ 参加者 ]

- ・一般の方:39名
- ・行政担当者等:8名(宮崎県:河川課・港湾課・宮崎土木事務所・中部港湾事務所、国交省:宮崎港湾空港整備事務所・宮崎河川国道事務所、宮崎市:土木課)

【質疑応答】

防潮林について(前回の確認)

- ◇全国の防潮林に使用している樹木の種類について知りたい。
- ◇防潮林(植生)と砂浜の関係について、技術的な評価を知りたい。
- ◇海岸林の歴史に関しては、県の報告書もあるので参考にしてほしい。

宮崎平野と住吉平野について

- ◇住吉、青島などの過去の絵図をみると、海岸沿いに自然の海岸林が分布している。
- ◇松林は植林されたのか。自生したのか。
- ◇市民の森は原生林と思われるが、なぜ原生林があるのか。  
→江田神社の社杜として植えられたのではないか。
- ◇延岡、高鍋、風田、市木に黒松林があったが、市木海岸ではタブ林となっている。松が枯れるとタブ林となる。
- ◇明示以降(昭和初期や大正時代)の土地や生活の変遷について教えて欲しい。
- ◇明示以降の古地形地図などの情報を入手できないか。

【次回以降の予定等】

- ・第10回勉強会は、平成20年12月16日(火) 住吉公民館
- ・サーファー、漁業者からの話をうかがう。